

神戸市役所本庁舎の ISO14001 活動成果

平成 16 年度環境マネジメントシステムの取り組み結果について

神戸市では、自らの事業活動に伴う環境負荷の削減や環境改善活動を推進するほか、市民や事業者の方々が環境保全活動を進めるにあたっての率先垂範となるため、平成 15 年から環境マネジメントシステム ISO14001 の取り組みを始めています。

[これまでの経緯]

年	月/日	出来事
H15	2/10	市長のキックオフ宣言 (ISO14001 認証取得宣言)
	9/10	環境方針の公表
	10/15	環境マネジメントシステムの試験運用開始
	12/24, 25	審査登録機関による初動審査
H16	2/12, 13	審査登録機関による本審査
	3/8	認証取得
	3/30	登録証の授与
H17	2/9,10	審査登録機関による定期審査

1. 適用範囲

本環境マネジメントシステムは、本庁舎における職員(嘱託職員・アルバイト職員を含む)の事務事業に適用します。

2. 環境方針

環境方針とは、本市の環境保全の取組に関する基本方針を定めるもので、市長が決定します。環境方針は、本市のホームページ等で公開しています。

環境方針

1. 基本理念

神戸は、150 万の人口を有する大都市にもかかわらず、六甲の山々や瀬戸内海など、自然環境に恵まれた都市です。

神戸市では、この恵まれた環境をまもるとともに、美しくゆとりのある都市空間を創造し、将来に継承していくため、「神戸市民の環境をまもる条例」に基づき、次の 5 つの基本理念のもと、総合的な環境行政を展開してきました。

環境負荷の少ない持続的に発展できる環境保全型社会の実現
健全で快適な環境の将来の市民への継承
環境の有限性の認識と適正な管理・利用
市民・事業者・行政の協働
地球環境保全への貢献

また、これらの基本理念を実現するため、「新・神戸市環境基本計画」を策定し、中長期的な目標や市民・事業者・市それぞれの役割を定めたほか、市自らの事務事業に伴う環境負荷の低減をめざした「CO₂ダイエット作戦(神戸市役所地球温暖化防止実行計画)」を展開し、一定の成果を収めてきました。

しかしながら、環境の世紀といわれる 21 世紀において、地域の環境問題のみならず、地球温暖化などの地球環境問題に適切に対処するためには、市民・事業者・市がそれぞれの役割に応じた取組を着実に進め、確実に成果を挙げていく必要があります。

このため、神戸市役所本庁舎において、国際規格(ISO14001)に則した環境マネジメントシステムを導入し、継続的改善を図るとともに、環境汚染の予防と環境負荷の低減に確実な成果を挙げていきます。

市が率先して環境負荷の低減に取組み、その成果を公表することによって、市民・事業者においても環境配慮の取組が一層幅広く展開されることを期待します。

2. 基本方針

(1) 新・神戸市環境基本計画に掲げた望ましい神戸の環境像「自然のめぐみを大切に、みんなで築く、共生と循環のまち・神戸」の実現をめざし、環境負荷を低減するための取組を継続的に推進します。特に、次の項目について重点的に取組みます。

環境の保全及び創造に関する施策の推進
本庁舎での省資源・省エネルギー、廃棄物の削減及びグリーン購入の推進
公共工事に伴う環境負荷の低減

- (2) 市の事務事業に関連する環境の法規制その他これらに類する同意事項を遵守します。
(3) すべての職員が環境とのかかわりを認識し、環境に配慮しながら事務事業を進めるよう研修を行います。
(4) 環境方針及び活動成果を公表します。

平成 15 年 9 月 10 日

神戸市長 矢田 立 郎

3. 取り組みの対象

環境方針に基づき、本庁で所管する事務事業が及ぼす環境への影響の程度や、適用される環境関係の法規制を調査し、取り組みの対象を絞り込みました。

平成 16 年度は、取り組みの対象を広げ、環境基本計画に関する全施策を含めることとしました。このほか、大規模イベントやオフィス事務、公共工事についても、環境への影響を着実に低減していくため、目標や年間計画(環境マネジメントプログラム)を策定しました。また、庁舎内の機器・設備などに適用される法令などの遵守義務や規制要件を明確にしました。

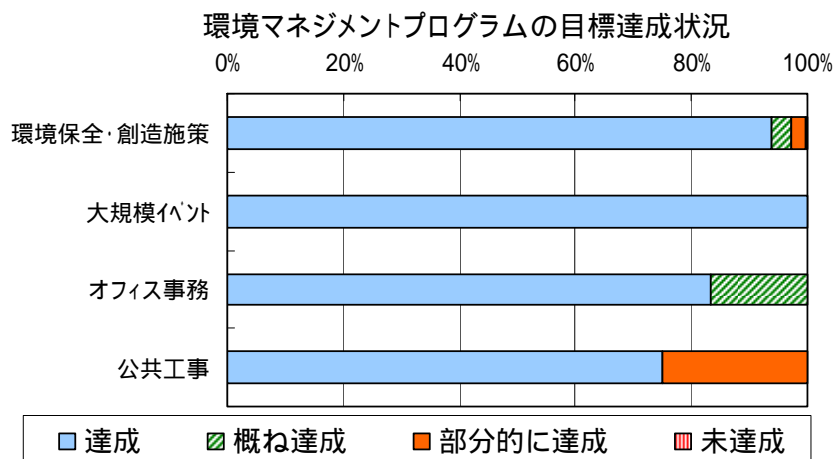
取り組み対象一覧表

分野	対象	取り組み内容(例)	対象所属	
1.環境マネジメントプログラムを作成して着実に実施するもの	環境保全・創造施策	ビオ-フネットワーク神戸 21 計画, 未利用エネルギーの利用促進, 道路美化など	・ビオ-フの整備推進 ・雨水利用設備の導入 ・道路の美化「美ing神戸市民運動」の推進	所管所属
	大規模イベント	神戸まつり, ルミナリエ, 海上花火大会	・出店営業に伴う廃棄物の発生抑制 ・配布チラシ削減	所管所属
	オフィス事務	電気・都市ガスの使用削減, 廃棄物の分別・発生抑制, グリーン調達の推進など	・照明器具へのスイッチ紐取付, 部分照明の徹底 ・リサイクル容器の設置, ごみ箱・照明スイッチへの管理者表示 ・取り組みチェックのハトール実施 ・グリーン調達方針の遵守	全所属
	公共工事	土木, 建築, プラント・設備工事	・環境配慮指針(仮称)の策定に向けた配慮事項の整理 ・グリーン調達の推進	公共工事 所管所属
2.環境法規制を確実に遵守するもの	機器・設備の管理など	・ばい煙発生施設の排ガス測定 ・電気使用量の記録・報告	所管所属	

4. 目標の達成状況及び今後の課題

(1) 環境マネジメントプログラムの実施

本庁の全 21 局室 159 所属の 3,823 名(平成 16 年 10 月時点)で取り組んだ結果, 全体(352 プログラム)の約 94%が計画どおり達成できました。



それぞれの環境マネジメントプログラムの実績評価(自己評価)結果について

環境保全・創造施策の実績評価結果

局室	プログラム数	評価結果			
		達成	概ね達成	部分的に達成	未達成
行財政局	7	6	1	0	0
市民参画推進局	1	1	0	0	0
生活文化観光局	8	8	0	0	0
保健福祉局	13	13	0	0	0
環境局	168	157	6	4	1
産業振興局	10	8	1	1	0
建設局	22	16	3	3	0
都市計画総局	48	48	0	0	0
みなと総局	17	17	0	0	0
水道局	3	3	0	0	0
交通局	6	6	0	0	0
教育委員会事務局	36	35	1	0	0
計	339	318	12	8	1

- 339 のプログラムのうち, 318(約 94%) で達成できました。
- 評価結果が「概ね達成」や「部分的に達成」, 「未達成」のプログラムについては, その原因調査及び再発防止のための改善策を講じています。
- 平成 17 年度からはプログラムの進捗状況の点検を一層徹底し, 進捗管理をより確実に進めていきます。

大規模イベントの実績評価結果

局	対象事務事業	H16 目標	H16 実績	評価結果
生活文化観光局	神戸まつり	出店営業に伴う廃棄物の発生抑制・減量, 配布チラシの対前年比 10%削減	出店営業に伴う廃棄物の発生抑制・減量, 配布チラシの対前年比 10%削減	達成
	神戸ルミナリエ	出店営業に伴う廃棄物の発生抑制	出店営業に伴う廃棄物の発生抑制	達成
みなと総局	海上花火大会	出店営業に伴う廃棄物の発生抑制・減量	廃棄物の発生抑制のための啓発・指導の実施	達成

- 3 つのプログラム全部で達成できました。
- 今後は廃棄物の発生抑制について, より効果的な啓発・指導を行っていきます。

オフィス事務(エコオフィス)の取り組みの実績評価結果

対象事務事業	H16 目標*	H16 実績*	評価結果
電気・都市ガスの使用	3.5%以上削減	7.5%削減	達成
上水の使用	1.5%以上削減	3.3%増加	未達成
廃棄物の排出	9%以上削減	56%削減	達成
紙類の消費	4%以上削減	7.9%削減	達成
公用車の使用	2.5%以上削減	12.5%削減	達成
グリーン調達	対象品目の 100%目標達成	100%達成	達成

* CO₂ ダイエット作戦の基準年(平成 11 年度)と比較した数値です。

- オフィス事務の 6 つのプログラムのうち, 上水の使用を除く 5 つのプログラムで達成できました

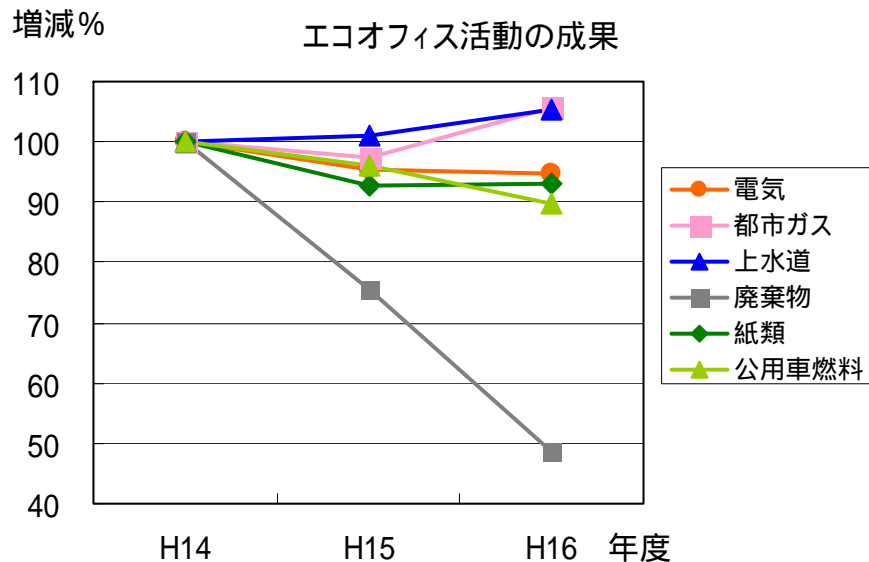
- 上水の使用については、節水の呼びかけや掲示を行うなどのソフト面の対策のほか、漏水対策を行ってきましたが、昨年に引き続き目標を達成できませんでした。
- 17年度からはソフト面の対策に加えて、ESCO 事業によるハード面での対策を行い、電気、ガス、上水の削減を図ります。
- なお、オフィス事務に関するCO₂の削減効果は約324t^{*}でした。この量は、広葉樹林49ha(スカイマークスタジアム12個分)が1年間に吸収するCO₂量に相当します。
- また、電気・ガスなどの削減により、約2360万円^{*}の経費節減効果がありました。
ISO導入前(平成14年度)と16年度を比較した値です。

オフィス事務(エコオフィスの取り組み)の削減効果(平成14年度と16年度実績の比較)

対象	削減率 (%)	CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂)	経費節減額 (万円)
電気使用量	-5.4	-259	-1143
都市ガス使用量	5.7	58	167
上水道使用量	5.2	1	120
廃棄物排出量	-51.4	-58	-1017
紙類購入量	-7.1	*	-207
公用車燃料使用量	-10.3	-67	-274
合計		-324	-2354

* 紙類のCO₂排出量は、CO₂算定方法の国際取り決めに従い、考慮しません。

注: 値は単位未満の数値を四捨五入しています。



- 本庁舎がISO14001に取り組んだ平成15年度前後の経過をみると、廃棄物はISO導入前の半分以下に減少し、紙類、電気、公用車燃料も着実に減少しています。

公共工事に係る取り組みの実績評価結果

対象事務事業	H16 目標	H16 実績	評価結果
土木工事	(仮称)環境配慮指針の策定	環境配慮指針(案)を策定した。	達成
建築工事		環境配慮事項チェックリストを策定した。	部分的に達成
プラント設備工事		(仮称)環境配慮指針の策定のための検討会を重ね、環境配慮事項チェックリストの策定を行った。	達成
グリーン調達の推進	16年度グリーン調達方針に基づき、グリーン調達に努める。	16年度グリーン調達方針に基づき、グリーン調達に努めた。	達成

- 公共工事に伴う環境影響を軽減するため、設計、施工段階での環境配慮事項やチェックリストなどを盛り込んだ(仮称)環境配慮指針の策定を進めました。
- 平成 17 年度からは環境配慮事項のチェックリストの試験運用を順次始めていきます。また、この取り組み成果をもとに環境配慮指針の検証を進めていきます。

(2) 環境法規制の遵守

- 平成 16 年度は大気や水質、緑化、景観、リサイクル、グリーン購入など 26 の法令等について遵守状況を確認した結果、大気汚染防止法に基づく届出の遅延が 1 件ありました。
- この所属では既に是正及び再発防止措置が講じられており、今後は環境法規制を確実に遵守していきます。